

## 聖心の園 1939(S14)～昭和の終わり頃

1939 (S14) 年、聖心の園幼稚園が設立された。創設者は神谷桃子である。所在地がわかる資料がなく、漸く「神奈川県私立学校名簿」昭和 26 年一覧から鎌倉市二階堂 922 の住所を知ることができた。二階堂 922 は杉本観音バス停の少し手前を右折して小径を進んだ滑川沿いの辺りである。

40 年 3 月は 30 名の第 1 回卒園生を出している。基督教カトリック系の園であり、戦時中の排外的な風潮の中で何かと圧迫の力が働いたためか、正式の認可を得るに至らなかった。しかし、戦時中も疎開して来た人たちの子弟が入園し、戦争末期に至っても休園することなく園児は 30 ないし 50 人いたという。鎌倉が比較的裕福な別荘地という恵まれた土地柄によるものであろうか。逗子、葉山からの通園者もあった。

昭和 20 年、空襲も激しくなり 9 月から休園を予定していたところ終戦となり、そのまま続けることができた。

終戦直後、大船の大慈幼稚園から連絡があり、進駐軍が戦時的教材の一掃を命令しているとのことで、この園でも

急いで従来の紙芝居、絵本、歌などから戦時色のあるものをすべて封印して物置にしまいこみ、しばらくの間保存されていた。

終戦直後に鎌倉市にあった数少ない幼稚園（ハリス、大船、大慈、比企谷、聖心の園、）の一つである。1947年には神谷梅が園長に就任した。桃子の娘である。

年月が特定できないが、昭和の終り頃に廃園となった。